

「象」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前には作品に対する理解の一助として、また、観劇後の感動をさらに深めるために、5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開室時間：10:00～18:00 月曜休室（祝休日及び主催公演日は他曜日に振替）

過去の公演プログラム

2009/2010 SEASON 象（2010.3）初演プログラム。

2002/2003 SEASON マッチ売りの少女（2003.4）別役実新国立劇場初作品。

参考図書

<『象』戯曲>

別役実 | 壊れた風景 象 別役実＝著／ハヤカワ演劇文庫 2007年発行

別役実戯曲集 マッチ売りの少女／象 別役実＝著／三一書房 1969年発行

「戦争と平和」戯曲全集 第十二巻 日本図書センター 1998年発行 別役実『象』ほか収録。

現代日本戯曲大系5 1960～1963 三一書房 1971年発行 別役実『象』ほか17編を収録。

<『象』関連図書>

「原爆一号」といわれて 吉川清＝著／筑摩書房 1981年発行

別役実が「象」の病人のモデルとした被爆者で、「原爆一号」と呼ばれた吉川清氏の自伝。

<作家の他の戯曲>

さらって行ってよピーターパン 別役実＝著／論創社 2011年発行

大人になってすっかり落ち着いたピーターパン。子供たちにせがまれて連れてきたネバーランドの冒険とは…！？（『さらって行ってよピーターパン』）。目的すらも忘れてしまうお師匠さまと、やる気のないご一行が天竺を目指して旅する『飛んで孫悟空』。荒涼とした砂漠を歩き交う人々。王子さまをはじめ、それぞれのささやかな愛の形に描く『夜と星と風の物語』。

やってきたゴドー 別役実＝著／論創社 2010年発行

待ち続けた二人のもとに、ついに「やってきたゴドー」。かつて70年代に書かれた「にしむくさむらい」の後日譚として、小市民の本質を抉った「犬が西むきや尾は東」。アーサー・ミラーの『セールスマンの死』を彷彿とさせる現代版サラリーマンを描く「風のセールスマン」。別役実の傑作戯曲を収録。

別役実戯曲集シリーズ 三一書房

『金欄緞子の帯しめながら』（1998年発行）『遊園地の思想』（1997年発行）

『森から来たカーニバル』（1996年発行）

『カラカラ天気と五人の紳士』『風に吹かれてドンキホーテ』（1994年発行）

『はるなつあきふゆ』『猫ふんちゃった』（1993年発行）『山猫からの手紙』（1991年発行）

『ドラキュラ伯爵の秋』（1990年発行）

『諸国を遍歴する二人の騎士の物語』『ジョヴァンニの父への旅』（1988年発行）

『白瀬中尉の南極探検』（1986年発行）『ハイキング』（1985年発行）『メリーさんの羊』（1984年発行）

『太郎の屋根に雪降りつむ』（1983年発行）『足のある死体／会議』（1982年発行）

『木に花咲く』（1981年発行）『マザー、マザー、マザー』（1980年発行）

『天才バカボンのパパなのだ』（1979年発行）『にしむくさむらい』（1978年発行）

『あーぶくたつた、にいたつた』（1976年発行）『数字で書かれた物語』（1974年発行）

『そよそよ族の叛乱』（1971年発行）『不思議の国のアリス』（1970年発行）

<作家の他の著書>

ことばの創りかた 現代演劇ひろい文 別役実＝著／論創社 2012年発行

安部公房の『友達』の読解から不条理演劇とはなにかを問うた記念碑的な論をはじめ、後期ベケットの諸作の読解、つかこうへいの『熱海殺人事件』、井上ひさしの『蓼原検校』、三島由紀夫の『サド侯爵夫人』、『わが友ヒットラー』など、名だたる作品を分析。

別役実のコント検定！ 別役実＝著／白水社 2008年発行

別役流家元が「笑い」の試金石として問う、「ウケる技術」を磨きたい人のためのショートコント傑作集。筒井康隆氏原作のコントも収録。

別役実のコント教室 不条理な笑いへのレッスン 別役実＝著／白水社 2003年発行

「笑い」を書くための実践的な教科書。劇作家・脚本家・放送作家になりたい人はもちろん、「ウケる技術」を身につけたい人のための短期集中講座。

別役実の演劇教室 舞台を遊ぶ 別役実＝著／白水社 2002年発行

演劇は観るものではなく、するものである。長年の要望に応え、はじめて書き下ろした「演劇をするための必読入門書」。

白水Uブックス 台詞の風景 別役実＝著／白水社 1991年発行

さりげない語り口で人間の不安をさぐり、分析する著者が、定評ある名台詞と自作品をユーモアを交えて解説する。他にピンター・三島由紀夫、井上ひさし、ベケットを論じた作家論、文学座アトリエ公演における報告を併載。

ベケットと「いじめ」 別役実＝著／白水社 1987年発行

中学校の教室で「お葬式ごっこ」が演じられた時の、本当の主演は？ サミュエル・ベケットの不条理劇3編を読み、いじめのメカニズムを考察する。対人関係という切り口から演劇のポストモダンについて語った、画期的な書。

うらよみ演劇用語辞典 別役実＝著／小学館 2003年発行

皮肉と諧謔を駆使する不条理劇の第一人者が演劇用語に仮託して人間の面白さ、不思議さを語る。「アングラ」「どさまわり」「あごあし」「チラン」「不条理劇」など75項目のエッセイから浮かび上がる人間の悲喜劇。

<その他作家関連>

別役実の世界 新評社 1982年発行 評論家、演出家、作家、俳優等27人が別役実について語る。

現代劇文学の研究 阿部到＝著／桜楓社 1986年発行

劇作家6人＝田中千禾夫、飯沢匡、三島由紀夫、安部公房、別役実、唐十郎の作品論。『象』に関する記述もあり。

現代演劇まるかじり 森秀男＝著／晶文社 1983年発行

劇場から劇場へ、20年間にわたってさまざまな舞台に立ちあいつづけてきた著者が、「小劇場演劇」以後の18人の劇作家(別役実を含む)の作品を、その上演に接しながらいねいに読みとく。

別役実の関連資料は他にも公演プログラム等多数ございます。詳しくはお問合せください。

公演記録映像

マッチ売りの少女 (2003.4.16) 寺島しのぶ、手塚とおる、猪熊恒和、富司純子